

令和2年度版(2020年度版)『小学算数』 年間指導計画案(3年)

学校の授業以外の場での学習が可能と 考えられる学習活動を考慮した詳細版

本資料は、令和2年度版教科書『小学算数』に基づいて、学校での授業と学校の授業以外の場において取り組む学習活動を併用してご指導いただく場合の学習指導計画案を示したものです。学校の授業以外の場において取り組む学習活動をできるだけ多く取り入れる場合を想定して示した一例ですので、地域や学校の状況に合わせて、適宜、学校の授業以外の場において取り組む学習活動を増減していただくなどしてご活用ください。

■本資料の見方

本資料では、①習熟や定着のための確認ページ、②既習内容の復習ページ、③学習内容の日常生活への活用ページを中心に、「学校の授業以外の場での学習が可能であると考えられる教材・学習活動」と位置づけ、表の右端の列に示しています。

1 かけ算【かけ算のきまりを覚よう】(上P.10~24) 4月中旬~4月下旬(10時間) **【9時間】**

【単元目標】
 ・乗法について成り立つ性質を理解し、数のまとまりに着目して0や10に関する乗法、何十・何百に1位数をかける乗法の計算の仕方を考え表数するとともに、交換・結合・分配法則などを使うと計算がくふうできるよさに気づき、学習したことを生活や今後の学習に活用しようとする態度を養う。

【単元の評価規準】
 数・算 1-1-1 乗法について成り立つ性質(交換・結合・分配法則など)を理解し、それらの性質や乗法九九などの基本的な計算をもとに、0に関する乗法や何十・何百に1位数をかける乗法を計算することができる。
 1-1-1-1 九九の表などから乗法について成り立つ性質を見いだしているとともに、それらの性質や数のまとまりに着目して、0や10に関する乗法や何十・何百に1位数をかける乗法の計算の仕方を考え表現している。
 1-1-1-2 0や10に関する乗法や何十・何百に1位数をかける乗法の計算の仕方を、交換・結合・分配法則や数のまとまりに着目して考えたとことを振り返り、乗法の性質などを使うと計算がくふうできるよさに気づき、生活や今後の学習に活用しようとしている。

時	目 標	学 習 活 動	学校の授業以外の場での学習が可能であると 考えられる学習活動や指導上の留意事項
1	【数の学習のめざし】(P.10)は、10時間学習や学習活動などを通じて理解できるように扱う。		
10	○学習内容の理解を確認する。	□「たし算のポイント」(P.24)に取り組む。	・答え合わせまで行う。その際、児童が分からない問題に、個別に支援する。

学校の授業と学校の授業以外の場において取り組む学習活動を併用してご指導いただく場合の学校の授業時間を示しています。

学校の授業以外の場において取り組む学習活動には、赤いアミを施すとともに、取り扱う際の指導上の留意事項などを示しています。

※本資料で示した各単元の学習活動、配当時間などは、今後公開される各種情報によって、変更となる可能性があります。ご了承ください。

『小学算数』 3年 年間指導計画（詳細案）

1 かけ算 [かけ算のきまりを見つけよう] (上P. 10~24)

4月中旬～4月下旬 [11時間] **[9時間]**

【単元の目標】

- 乗法について成り立つ性質を理解し、数のまとまりに着目して0や10に関する乗法、何十・何百に1位数をかける乗法の計算の仕方を考え表現するとともに、交換・結合・分配法則などを使うと計算がくふうできるよさに気づき、学習したことを生活や今後の学習に活用しようとする態度を養う。

【単元の評価規準】

- 知・技**…乗法について成り立つ性質（交換・結合・分配法則など）を理解し、それらの性質や乗法九九などの基本的な計算をもとに、0に関する乗法や何十・何百に1位数をかける乗法を計算することができる。
- 思・判・表**…九九の表などから乗法について成り立つ性質を見いだしているとともに、それらの性質や数のまとまりに着目して、0や10に関する乗法や何十・何百に1位数をかける乗法の計算の仕方を考え表現している。
- 態 度**…0や10に関する乗法や何十・何百に1位数をかける乗法の計算の仕方について、交換・結合・分配法則や数のまとまりに着目して考えたことを振り返り、乗法の性質などを使うと計算がくふうできるよさに気づき、生活や今後の学習に活用しようとしている。

時	目 標	学 習 活 動	学校の授業以外の場での学習が可能であると 考えられる学習活動や指導上の留意事項
※	「次の学習のために」(P.9)は、短時間学習や家庭学習などを通して弾力的に扱う。		
単元アプローチ (P.10) 1時間			
1	○おはじき入れゲームを通して、自分の得点を求める計算に関心を持つ。	・おはじき入れゲームをして、得点の求め方を考える。	
① 0のかけ算 (P.11~12) 2時間			
2 3	○被乗数、乗数が0の乗法の意味を理解し、答えの求め方を考える。	・被乗数、乗数が0の場合も、既習の乗法と同様に立式する。 ・被乗数、乗数が0の乗法の意味を知る。	
② かけ算のきまり (P.13~17) 4時間			
4	○乗数が1ずつ増減したときの積の変化や、乗法の交換法則を理解する。	・ 7×6 の答えの見つけ方を考える。 ・乗数が1ずつ増減したときの積の変化を調べる。 ・乗法の交換法則を調べる。	
5	○3つの数をかける乗法の計算の仕方を考え、乗法の結合法則を理解する。	・ドーナツの数の求め方を考えることを通して、乗法の結合法則を調べる。	
6	○乗数や被乗数を分けて計算した場合の答えについて考え、乗法の分配法則の意味を理解する。	・乗数や被乗数を分けて計算することを通して、乗法の分配法則を調べる。	
7	○乗数、被乗数が未知数の式について、未知数の求め方を考え説明することができる。	・乗数、被乗数が未知数の式について、九九の表や乗法の性質を使って未知数の求め方を考える。	
③ 10のかけ算 (P.19) 1時間			
8	○乗数や被乗数が10の乗法の計算の仕方を考え、答えを求めることができる。	・乗数や被乗数が10のときの乗法の計算の仕方を考える。	

4 何十、何百のかけ算 (P. 20~23) 1時間			
9	○何十、何百に1位数をかける計算の仕方を考え、答えを求めることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・20×3の計算の仕方を考える。 ・(何十) \times (何)の計算の仕方をまとめる。 ・200×7の計算の仕方を考える。 ・(何百) \times (何)の計算の仕方をまとめる。 	
学習のまとめ 2時間 (0時間)			
10 ・ 11	○学習内容の理解を確認する。	○「たしかめポイント」(P. 24)に取り組む。	・答え合わせまで行う。その際、児童がわからなかった問題は、個別に支援する。

2 わり算 [新しい計算のしかたを考えよう] (上P. 26~38)

4月下旬~5月中旬 [11時間] [10時間]

【単元の目標】

- ・除法が用いられる場合とその意味について理解し、除法計算の技能を身につけ、数量の関係に着目して除法の計算の仕方を考えるとき、除法は乗法の逆算ととらえられることに気づき、除法の計算の仕方をよりよく表現したり、学習したことを生活に活用したりしようとする態度を養う。

【単元の評価規準】

- 知・技**…除法が用いられる場合(等分除や包含除など)とその意味、除法と乗法や減法との関係について理解し、除法が用いられる場面を式に表したり、式をよみとったりすることができるとともに、除法の計算をすることができる。
- 思・判・表**…数量の関係に着目し、除法が用いられる場面を具体物や図、式、言葉などで表したり、除法は乗法の逆算ととらえたりしながら、除法の計算の仕方を考えている。
- 態 度**…除法の場面を具体物や図などを用いて考えたことを振り返り、問題を能率的に解決できる除法のよさに気づき、計算の仕方をよりよく表現し、身の回りから除法が用いられる場面を見つけようとしている。

時	目 標	学 習 活 動	学校の授業以外の場での学習が可能であると 考えられる学習活動や指導上の留意事項
※	「次の学習のために」(P. 25)は、短時間学習や家庭学習などを通して弾力的に扱う。		
1 1人分をもとめる計算 (P. 26~29) 3時間			
1 ・ 2	○単元アプローチ (P. 26) ・おかしなさまざまな分け方を考える。		
2	○等分除の場面について考え、除法の意味や式のかき方、記号の意味を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・等分することの意味を考える。 ・等分除の場面における除法の意味と式の表し方を知る。 ・「わり算」の用語を知る。 	
3	○等分除の場面における除法の答えを、乗法九九を用いて考え、求めることができる。	・乗法九九を使った等分除の答えの求め方を考える。	
2 何人分をもとめる計算 (P. 30~32) 3時間			
4	○用語「わられる数」「わる数」を知り、包含除の場面について考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・包含除の場面における除法の意味と式の表し方を知る。 ・用語「わられる数」「わる数」を知る。 	
5	○包含除の場面における除法の答えを、乗法九九を用いて考え、求めることができる。	・乗法九九を使った包含除の答えの求め方を考える。	

6	○等分除と包含除について、どちらも同じ式で表すことができることを理解し、統合的にとらえる。	・ $6 \div 3$ の式になる問題をつくる。 ・等分除と包含除の2つの場面を比べ、除法として統合してとらえる。	
3 1や0のわり算 (P. 33) 1時間			
7	○1や0に関する除法の計算をすることができる。	・1や0に関する除法の意味について考え、式に表す。	
4 倍をもとめる計算 (P. 34) 1時間			
8	○ある数量がもう一方の数量の何倍かを求める場合でも、除法が用いられることを理解する。	・何倍かを求めるには、どんな計算をすればよいかを考える。	
5 答えが九九にないわり算 (P. 35~36) 2時間			
9	○何十を1位数でわる計算のしかたを考え、説明することができる。	・ $60 \div 3$ の計算の仕方を考える。	
10	○ $(2 \text{位数}) \div (1 \text{位数}) = (2 \text{位数})$ (各位で整除)の計算の仕方を考え、説明することができる。	・ $69 \div 3$ の計算の仕方を考える。	
学習のまとめ 1時間 (0時間)			
※	「わかっているかな?」「まちがいやすい問題」(P. 37)で、学習内容をより確かなものにする。		
11	○学習内容の理解を確認する。	○「たしかめポイント」(P. 38)に取り組む。	・答え合わせまで行う。その際、児童がわからなかった問題は、個別に支援する。

3 時間の計算と短い時間〔時こくや時間のもともめ方を考えよう〕 (上P. 40~46)

5月中旬 [5時間] [4時間]

【単元の目標】

- ・時間の単位(秒)やその関係を理解し、日常生活に必要な時刻や時間を求める技能を身につけ、時間の単位に着目して時刻や時間の求め方を考えるとともに、時間の感覚をとらえ生活に活用しようとする態度を養う。

【単元の評価規準】

知・技…時間の単位(秒)やその関係を理解し、日常生活に必要な時刻や時間を求めることができる。

思・判・表…時間の単位に着目し、日常生活の場面について、時計の模型や数直線を用いて時刻や時間の求め方を考えている。

態 度…日常生活で必要な時刻や時間を測定して表したり、求め方を考察したりしたことを振り返り、「秒」が用いられている日常生活の場面を調べたり、「秒」の感覚をとらえたりしようとしている。

時	目 標	学 習 活 動	学校の授業以外の場での学習が可能であると 考えられる学習活動や指導上の留意事項
※	「次の学習のために」(P. 39)は、短時間学習や家庭学習などを通して弾力的に扱う。		
1 時間の計算 (P. 40~43) 2時間			
1	○時計、時刻目盛り付き数直線を用いて、時刻や時間を求めることができる。	・校区たんけんの場面について、時計、数直線を使って時刻や時間を求める。	
2	○時計、時刻目盛り付き数直線を用いて、時刻や時間を求めることができる。	・校区たんけんの場面について、時計、数直線を使って時刻や時間を求める。	

2 短い時間 (P. 44~45) 2時間		
3 ・ 4	○1分より短い時間の単位「秒」を知り、1分=60秒であることを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・時間の単位「秒」を知る。 ・1分=60秒を知る。 【ハロー！算数】 ・「秒」に関する量感を知る活動に取り組む。
		・学校の授業以外で、「秒」に関する量感を知る活動に取り組みることにより、1時間扱いとすることもできる。
学習のまとめ 1時間 (0時間)		
5	○学習内容の理解を確認する。	○「たしかめポイント」(P. 46)に取り組む。
		・答え合わせまで行う。その際、児童がわからなかった問題は、個別に支援する。

4 たし算とひき算〔筆算のしかたを考えよう〕 (上P. 48~62)

5月下旬~6月上旬 [11時間] **[10時間]**

【単元の目標】

- ・3, 4位数の加減計算について、既習の基本的な計算をもとにしてできることを理解し、筆算で計算する技能を身につけ、十進位取り記数法や数のまとまりに着目して計算の仕方を考えるとともに、計算に関して成り立つ性質を活用するよさに気づき、学習したことを生活や今後の学習に活用しようとする態度を養う。

【単元の評価規準】

- 知・技**…3, 4位数の加減計算が、2位数などについての基本的な計算をもとにしてできることを理解し、それらの計算が筆算でできるとともに、2位数どうしの加法及び減法の答えを暗算で求めることができる。
- 思・判・表**…十進位取り記数法や数のまとまりに着目し、3, 4位数の加減計算の仕方を考え表現するとともに、計算に関して成り立つ性質を見だし、それらを活用して計算をくふうしたり計算の確かめをしたりしている。
- 態 度**…既習事項をもとに3, 4位数の加減計算の仕方考えようとするとともに、計算に関して成り立つ性質を活用して計算をくふうしたり計算の確かめをしたりした過程を振り返り、そのよさに気づき、生活や今後の学習に活用しようとしている。

時	目 標	学 習 活 動	学校の授業以外での学習が可能であると 考えられる学習活動や指導上の留意事項
※	「次の学習のために」(P. 47) は、短時間学習や家庭学習などを通して弾力的に扱う。		
1 たし算 (P. 48~51) 3時間			
1 ・ 2	○単元アプローチ (P. 48)		
	・リサイクル活動で集めた牛乳パック、あきかんの数を話し合い、3位数どうしの加減の計算に関心を持つ。		
	○十の位が繰り上がる(3位数)+(3位数)の計算の仕方考え表現し、その計算が筆算でできる。	<ul style="list-style-type: none"> ・$375+264$の計算の仕方考える。 ・(3位数)+(3位数)の筆算による仕方をまとめる。 	
※	「よみとろう あらわそう」(P. 152) で、同じ場面を表しているテープ図、線分図、式の表現の仕方のちがいを確認するとともに、テープ図から線分図への転換を図る。		
3	○一、十の位が繰り上がる(3位数)+(2, 3位数)や、千の位へ繰り上がる(3位数)+(3位数)の計算ができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・(3位数)+(3位数)の派生型の筆算による仕方考える。 例 $237+195$, $564+239$ ・$745+531$の筆算による仕方考える。 	
2 ひき算 (P. 52~55) 3時間			
4	○百の位から繰り下がる(3位数)-(3位数)の計算の仕方考え表現し、その計算が筆算でできる。	<ul style="list-style-type: none"> ・$424-293$の計算の仕方考える。 ・(3位数)-(3位数)の筆算による仕方をまとめる。 	
5	○繰り下がりが2回ある(3位数)-(2, 3位数)の計算が筆算でできる。	<ul style="list-style-type: none"> ・(3位数)-(2, 3位数)の派生型の筆算による仕方考える。 例 $625-267$, $243-56$, $546-467$ 	

6	○波及的に繰り下がる(何百何)－(1, 2, 3位数)の計算が筆算でできる。	・402－238の筆算の仕方を考える。 ・百の位から波及的に繰り下がる(何百何)－(1, 2, 3位数)の筆算による仕方を考える。 例 301－24, 405－7, 901－208	
3 大きい数の筆算 (P. 56～57) 2時間			
7	○4位数の加法や減法の計算の仕方を考え、筆算ですることができる。	・5386＋1492の筆算による仕方を考える。 ・5386－1492の筆算による仕方を考える。	
8	○(千いくつ)－(3位数)の計算の仕方を考え説明している。	・1004－758の筆算による仕方を考える。	
4 計算のくふう (P. 58) 1時間			
9	○加法の結合法則を理解し、くふうして計算する。	・加法の結合法則について考える。	
5 暗算 (P. 60) 1時間			
10	○2位数どうしの加法や減法が暗算でできる。	・2位数の加法・減法の暗算の仕方を考える。	
学習のまとめ 1時間 (0時間)			
※	「わかっているかな?」「まちがいやすい問題」(P. 61)で、学習内容をより確かなものにする。		
11	○学習内容の理解を確認する。	○「たしかめポイント」(P. 62)に取り組む。	・答え合わせまで行う。その際、児童がわからなかった問題は、個別に支援する。
※	「ぐっとチャレンジ」(P. 140)は、予備時間などを使って弾力的に扱う。		

5 ぼうグラフ〔調べたことをグラフや表に整理しよう〕 (上P. 64～80)

6月中旬～6月下旬 [14時間] [12時間]

【単元の目標】

・表の意味や棒グラフの特徴、用い方を理解し、データを分類整理したり表や棒グラフに表したりよんだりする技能を身に付け、データを整理する観点に着目して表やグラフからデータの特徴や傾向をとらえ説明するとともに、表や棒グラフのよさに気づき、学習したことを生活や今後の学習に活用しようとする態度を養う。

【単元の評価規準】

知・技…表の意味を理解し、目的に応じてデータを分類整理して表したりよんだりできるとともに、棒グラフの特徴やその用い方を理解し、棒グラフをよんだりかいたりできる。

思・判・表…データを整理する観点に着目し、資料に落ちや重なりなどの誤りがおきにくいようにくふうしたり、目的にあった目盛りの取り方を選んで棒グラフをかいたりするとともに、表やグラフからデータの特徴や傾向をとらえ説明している。

態度…データをわかりやすく整理して表や棒グラフに表したり、見いだしたことを表現したりしたことを振り返り、表や棒グラフのよさに気づき、生活や今後の学習に活用しようとしている。

時	目 標	学 習 活 動	学校の授業以外の場での学習が可能であると 考えられる学習活動や指導上の留意事項
※	「次の学習のために」(P. 63)は、短時間学習や家庭学習などを通して弾力的に扱う。		
1 整理のしかた (P. 64～66) 2時間			
1 ・ 2	○単元アプローチ (P. 64) ・クラスで好きなスポーツを調べ、資料を整理することに関心を持つ。		
	○資料をくふうして分類整理する方法を考え、表にまとめることができる。	・好きなスポーツをくふうして記録し、整理する方法を考える。 ・好きなスポーツを表にまとめて整理する方法を知る。	

2 数の大きさを表すグラフ (P. 67~72) 6時間			
3	○棒グラフの意味やよみ方を理解する。	・「すきなスポーツ調べ」を表した棒グラフのよみ方を知る。	
4	○数の多い順に示すよさについて考えるとともに、1目盛りが1でない横向きの棒グラフをよむことができる。	・数の多い順に示した「すきなスポーツ調べ」の棒グラフをよむ。	
5		・1目盛りが1でない横向きの棒グラフをよむ。	
6	○1目盛りの大きさを考え、棒グラフをかくことができる。	・「乗り物調べ」の結果を、棒グラフにかく。	
7		・棒グラフのかき方をまとめる。	
8	○目盛りのつけ方が異なる2つの棒グラフのちがいについて考え説明することができる。	・目盛りのつけ方が異なる「かりた図かんの数」を表した2つの棒グラフのちがいを考える。	
3 表とグラフの見方 (P. 73~79) 5時間 (4時間)			
9	○2次元の表の見方を理解し、項目の数値をよみ取ることができる。	・3つの表から、求められた項目の数値をよむ。	
10		・2次元の表の見方を知る。	
11	○複数の棒グラフを組み合わせたグラフをよみ、資料の特徴や棒グラフの表し方について考え説明することができる。	・2次元の表を、複数の棒グラフを組み合わせたグラフに表す。 ・複数の棒グラフを組み合わせたグラフから、資料の特徴を考える。	
12	○自分の身の回りにある事柄を調べて、表やグラフに表すことができる。	【ハロー！算数】 ・身の回りのことを調べて、表や棒グラフに表す。	・学校の授業以外の場合、どんなことを調べてどのように整理するかを考えさせておくことにより1時間扱いとする。
13			
学習のまとめ 1時間 (0時間)			
14	○学習内容の理解を確認する。	○「たしかめポイント」(P. 80)に取り組む。	・答え合わせまで行う。その際、児童がわからなかった問題は、個別に支援する。
※	「ぐっとチャレンジ」(P. 141)は、予備時間などを使って弾力的に扱う。		

6 長さ〔長い長さを表そう〕 (上P. 82~89)

7月上旬~7月中旬 [6時間] [4時間]

【単元の目標】

・長さの単位 (km) やその関係について理解し、適切な単位や計器を用いて長さを測定したり的確に表したりするとともに、およその見当をつけて効率的に長さを測定するよさに気づき、学習したことを生活や今後の学習に活用しようとする態度を養う。

【単元の評価規準】

知・技…長さの単位 (km) や「1km=1000m」という関係について理解するとともに、測定するものに応じておよその見当をつけて適切な長さの単位や計器を選び、長さを測定したり表したりすることができる。

思・判・表…既習の長さの単位との関係に着目して1kmの長さをとらえ、測定するものや目的に応じた単位や計器を用いて、長さを的確に表現したり比べたりしている。

態 度…長い長さを数値に表したり、巻き尺を用いて曲線部分の長さを測定したりしたことを振り返り、およその見当をつけて効率的に長さを測定するよさに気づき、生活や今後の学習に活用しようとしている。

時	目 標	学 習 活 動	学校の授業以外の場合での学習が可能であると 考えられる学習活動や指導上の留意事項
※	「次の学習のために」(P. 81) は、短時間学習や家庭学習などを通して弾力的に扱う。		
1 長さ調べ (P. 82~85) 3時間			
1	○単元アプローチ (P. 82) ・教室の縦と横の長さを調べ方について考える。		

	○長いものの長さの測定に関心を持ち、はかり方を考える。	・教室の縦と横の長さを調べる。	
2	○巻き尺のしくみや長さをはかる方法を理解し、長さの感覚を持つ。	・巻き尺のしくみを知る。 【ハロー！算数】 ・10mと思うところまで歩き、その長さを巻き尺ではかる。	
3	○巻き尺を使って、まるいものや身の回りのものの長さを測定することができる。	・まるいものの長さをはかる。 【ハロー！算数】 ・身の回りのものの長さを、巻き尺を使って測定する。	
2 道のり (P. 86~88) 2時間 (1時間)			
4	○道のり、きよりの意味や長さの単位「km」を理解し、「km」を用いて長さを表すことができる。	・道のり、距離の意味を知る。 ・絵地図を見て、道のりや距離を求める。 ・長さの単位「km」を知る。	
5	○1kmの道のりを歩いたり、スポーツの世界記録を調べたりすることを通して、長さの感覚を持つ。	【ハロー！算数】 ・1kmの道のりがどれぐらいあるかを調べる。 ・スポーツの世界記録を調べ、その長さを体感する。	・学校の授業以外の場合、【ハロー！算数】の活動に取り組みせ、調べたことをノートにまとめさせる。
学習のまとめ 1時間 (0時間)			
6	○学習内容の理解を確認する。	○「たしかめポイント」(P. 89)に取り組む。	・答え合わせまで行う。その際、児童がわからなかった問題は、個別に支援する。
※	「ぐっとチャレンジ」(P. 142)は、予備時間などを使って弾力的に扱う。		

*** ふくしゅう (上P. 91~92) 配当時数なし**

※	「ふくしゅう」(P. 91~92)は、短時間学習や家庭学習などを通して弾力的に扱う。
---	--

7 大きい数 [10000より大きい数を表そう] (上P. 94~106)

9月上旬~9月中旬 [9時間] **[8時間]**

【単元の目標】

- ・千万の位までの数や、整数を10倍、100倍、1000倍、 $1/10$ にした大きさの数について理解し、数のまとまりに着目して数の大きさの表し方を考え、数を相対的にとらえるよさに気づき、学習したことを生活や今後の学習に活用しようとする態度を養う。

【単元の評価規準】

知・技…千万の位までの数の構成、よみ方、かき方及び億の単位や、整数を10倍、100倍、1000倍、 $1/10$ にした大きさの数の表し方について理解するとともに、十、百、千、万を単位とする数の相対的な見方で数をとらえることができる。

思・判・表…数のまとまりに着目し、十進位取り記数法による数の表し方や比べ方を考えたり、数の相対的な見方を活用して大きい数の計算の仕方を考えたりしている。

態 度…身の回りの大きな数に関心を持つとともに、数のまとまりや数の相対的な見方を活用したことを振り返り、そのよさに気づき、生活や今後の学習に活用しようとしている。

時	目 標	学 習 活 動	学校の授業以外の場合での学習が可能であると 考えられる学習活動や指導上の留意事項
※	「次の学習のために」(P. 93)は、短時間学習や家庭学習などを通して弾力的に扱う。		
1 数の表し方 (P. 94~102) 6時間			
1	○単元アプローチ (P. 94) ・身の回りで使われている数を調べ、1万よりも大きい数について関心を持つ。		

	○一万の位までの数の構成, よみ方, かき方を考え理解する。	・ラグビーの試合の入場券の枚数を調べる。 ・一万の位までの数の構成, よみ方, かき方を知る。	
2	○千万の位までの数の構成, よみ方, かき方を考え理解する。	・千万の位までの数の構成を知る。 (1万, 10万, 100万, 1000万) ・千万の位までの数のよみ方, かき方を知る。	
3	○十, 百, 千, 万を単位として, 数の相対的な大きさをとらえることができる。	・1000を24個集めた数を考える。 ・18000は, 1000を何個集めた数かを考える。	
4	○1億の構成や表し方, 1億までの数の順序, 系列を理解する。	・数直線に表された数をよむ。 ・数を数直線に表す。 ・1億の意味, よみ方を知る。	
5	○大きい数の計算の仕方や, 数の大小関係の表し方を考える。	・大きい数の計算の仕方を考える。 ・数の大小比較をし, $>$, $<$, $=$ を使って表す。 ・等号, 不等号の意味を知る。	
6	○数を多面的にとらえ, 表現することができる。	・45000をいろいろな見方で表す。	・学校の授業以外の場で, P.102の活動に取り組ませ, 自分の考えた見方をノートにまとめてもよい。
2 10倍, 100倍, 1000倍した数と, 10でわった数 (P.103~104) 2時間			
7	○整数を10倍した数の表し方を理解する。	・20を10倍した数を求める。 ・25を10倍した数を求める。	
8	○整数を100倍, 1000倍, $1/10$ にした数を求め, 数の大きさのおよそをとらえることができる。	・25を100倍, 1000倍した数を求める。 ・200を10でわった数を求める。	
学習のまとめ 1時間 (0時間)			
※	「わかっているかな?」「まちがいやすい問題」(P.105)で, 学習内容をより確かなものにする。		
9	○学習内容の理解を確認する。	○「たしかめポイント」(P.106)に取り組む。	・答え合わせまで行う。その際, 児童がわからなかった問題は, 個別に支援する。
※	「ぐっとチャレンジ」(P.143)は, 予備時間などを使って弾力的に扱う。		

8 あまりのあるわり算〔あまりのあるわり算のしかたを考えよう〕 (上P.108~117)

9月中旬~9月下旬 [8時間] [7時間]

【単元の目標】

- ・わり切れない場合の除法について, あまりの意味やあまりは除数より小さいことを理解し, 除法と乗法との関係に着目して計算の仕方や答えの確かめ方を考えるとともに, 問題場面に照らし合わせて答えを吟味しようとする態度を養う。

【単元の評価規準】

知・技…除法について, わり切れない場合はあまりを出すことや, あまりは除数より小さいことを理解し, あまりのある場合の除法の計算をすることができる。

思・判・表…除法と乗法との関係に着目し, あまりのある場合の除法の計算の仕方や答えを確かめる方法を考えたり, 数量の関係に着目し, 問題場面に応じて商やあまりの意味や処理の仕方を考えたりしている。

態 度…あまりのある除法の場面を具体物や図などを用いて考えたことを振り返り, 計算の仕方をよりよく表現したり, 問題場面に照らし合わせて答えを吟味しようとしたりしている。

時	目 標	学 習 活 動	学校の授業以外の場での学習が可能であると 考えられる学習活動や指導上の留意事項
※	「次の学習のために」(P.107)は, 短時間学習や家庭学習などを通して弾力的に扱う。		

1 あまりのあるわり算 (P. 108~112) 4時間			
1	○単元アプローチ (P. 108)		
2	・20個のスーパーボールを同じ数ずつ袋に入れ、除法の場面でわりきれぬ場合やわりきれぬ場合があることに気づく。		
	○あまりのある除法について、その意味や式の表し方を理解する。	・あまりのある除法の仕方を考える(包含除)。 ・用語「あまり」「わりきれぬ」「わりきれぬ」の意味を知る。	
3	○あまりは除数より小さくなることを理解する。	・2人のあめの分け方を比べる(包含除)。 ・あまりと除数の大きさの関係を考える。	
4	○等分除の場面で、あまりのある除法の答えを求めることができる。	・あまりのある除法の仕方を考える(等分除)。	
2 答えのたしかめ (P. 113) 1時間			
5	○「わる数」「わられる数」「商」「あまり」の関係を考え説明し、除法の答えの確かめ方を理解する。	・除法の式と検算の式を比べ、あまりのある除法の答えの確かめ方を考える。	
3 あまりを考える問題 (P. 114~115) 2時間			
6	○問題場面に応じて、あまりの適切な処理の仕方を考え、説明することができる。	・あまりの処理が必要な除法の場面について考える(商+1が必要な場合)。	
7	○問題場面に応じて、あまりの適切な処理の仕方を考え、説明することができる。	・あまりの処理が必要な除法の場面について考える(商がそのままよい場合)。	
学習のまとめ 1時間 (0時間)			
※	「わかっているかな?」「まちがいやすい問題」(P. 116)で、学習内容をより確かなものにする。		
8	○学習内容の理解を確認する。	○「たしかめポイント」(P. 117)に取り組む。	・答え合わせまで行う。その際、児童がわからなかった問題は、個別に支援する。
※	「ぐっとチャレンジ」(P. 144)は、予備時間などを使って弾力的に扱う。		

9 円と球〔まるい形を調べよう〕 (上P. 120~130)

9月下旬~10月上旬 [9時間] [7時間]

【単元の目標】

- ・円や球の意味や性質を理解し、コンパスを用いて円を作図したり長さをはかり取ったりする技能を身につけ、図形の構成要素に着目して円や球の性質を見いだすとともに、学習したことを生活や今後の学習に活用しようとする態度を養う。

【単元の評価規準】

知・技…円や球について、中心、直径、半径の意味や性質を理解し、コンパスを用いて円を作図したり等しい長さをはかり取ったりすることができる。

思・判・表…図形を構成する要素に着目し、円の観察、分類、構成、作図や球の観察などを通して、円や球の性質を見出している。

態度…円や球の性質を見いだしたり、円を用いた模様づくりをしたりしたことを振り返り、身の回りから円や球を見つけようとしていたり、円の持つ美しさに気づいたりしている。

時	目 標	学 習 活 動	学校の授業以外の場での学習が可能であると 考えられる学習活動や指導上の留意事項
※	「次の学習のために」(P. 119)は、短時間学習や家庭学習などを通して弾力的に扱う。		

1 まるい形 (P. 120~126) 6時間 (5時間)			
1	○単元アプローチ (P. 120) ・玉入れをするためのいろいろな並び方を考える。		
2	○円, 中心, 半径の意味を理解し, 円の半径の性質を見いだすことができる。	・まるい形のかき方を考える。 ・円, 中心, 半径の意味を知る。 ・円の半径の性質を調べる。	
3	○直径の意味, 性質や半径との関係を理解する。	・直径の意味を知る。 ・直径と半径の関係を調べる。	
4	○コンパス用いて円を作図したり, 長さをはかり取ったりすることができる。	・コンパスの使い方を知り, 円をかき。 ・コンパスを使って線分を区切ったり, 長さをうつしたりする。	
5	○円を用いた模様づくりを通して, 円の持つ美しさに気づく。	【ハロー！算数】 ・コンパスを使って, 円を用いた模様をかき。	・学校の授業以外の場で, 【ハロー！算数】 の活動に取り組みさせる。
6	○2点から指定された距離にある点の探し方を考える。	【ハロー！算数】 ・コンパスを使って, 2点から指定された距離にある点を探す。	
2 ボールの形 (P. 127~128) 2時間			
7	○球の意味や性質を理解する。	・球の意味や性質を知る。	
8	○身の回りから円や球の形をしたものを見つける。	【ハロー！算数】 ・身の回りから円や球の形をしたものを探す。	・学校の授業以外の場で, 【ハロー！算数】 の活動に取り組みさせてもよい。
学習のまとめ 1時間 (0時間)			
※	「わかっているかな?」「まちがいやすい問題」(P. 129)で, 学習内容をより確かなものにする。		
9	○学習内容の理解を確認する。	○「たしかめポイント」(P. 130)に取り組む。	・答え合わせまで行う。その際, 児童がわからなかった問題は, 個別に支援する。
※	「ぐっとチャレンジ」(P. 145)は, 予備時間などを使って弾力的に扱う。		

10 かけ算の筆算(1) [かけ算のしかたをくふうしよう] (下P.6~20)

10月上旬~10月下旬 [11時間] [10時間]

【単元の目標】

- 2位数や3位数に1位数をかける乗法の計算について、乗法九九などの基本的な計算をもとにしてできることを理解し、筆算で計算する技能を身につけ、数のまとまりに着目して考え説明するとともに、筆算形式のよさに気づき、学習したことを生活や今後の学習に活用しようとする態度を養う。

【単元の評価規準】

- 知・技**…2位数や3位数に1位数をかける乗法の計算について、乗法九九などの基本的な計算をもとにしてできることを理解し、筆算で計算することができる。
- 思・判・表**…数のまとまりに着目し、被乗数を位ごとに分けたり、図と式を関連づけたりしながら、既習事項を用いて2位数や3位数に1位数をかける乗法の計算の仕方を考えている。
- 態 度**…2位数や3位数に1位数をかける乗法の計算の仕方について、図や式などを使って考えた過程を振り返り、筆算形式のよさに気づき、生活や今後の学習に活用しようとしている。

時	目 標	学 習 活 動	学校の授業以外の場での学習が可能であると 考えられる学習活動や指導上の留意事項
※	「次の学習のために」(P.5)は、短時間学習や家庭学習などを通して弾力的に扱う。		
単元アプローチ (P.6) 1時間			
1	○(2位数)×(1位数)の問題をつくり、表現することができる。	・さし絵を見て、(2位数)×(1位数)の計算について考え、問題づくりをする。	
1 2けたの数にける計算 (P.7~13) 4時間			
2	○繰り上がりのない(2位数)×(1位数)の計算の仕方を考え、筆算の仕方を理解する。	・ 23×3 の計算の仕方を考える。 ・繰り上がりのない(2位数)×(1位数)の筆算による仕方をまとめる。	
3	○十の位へ繰り上がる(2位数)×(1位数)の計算の仕方を考え、筆算ですることができる。	・ 28×3 の筆算による仕方を考える。 ・繰り上がりのある(2位数)×(1位数)の筆算による仕方をまとめる。	
4	○百の位へ繰り上がる場合や、十、百の位へ繰り上がる(2位数)×(1位数)の計算が筆算でできる。	・ 72×3 の筆算による仕方を考える。 ・ 42×8 の筆算による仕方を考える。	
5	○部分積の和が繰り上がる(2位数)×(1位数)の計算が筆算でできる。	・ 46×7 の筆算による仕方を考える。 ・ 29×4 の筆算による仕方を考える。	
2 3けたの数にける計算 (P.14~16) 3時間			
6	○繰り上がりのない(3位数)×(1位数)の計算の仕方を考え、説明することができる。	・ 312×2 の計算の仕方を考える。 ・繰り上がりのない(3位数)×(1位数)の筆算による仕方をまとめる。	
7	○十、百の位に繰り上がる(3位数)×(1位数)の計算が筆算でできる。	・ 232×4 , 367×2 の筆算による仕方を考える。	
8	○十、百、千の位に繰り上がる(3位数)×(1位数)の計算が筆算でできる。	・ 432×3 の筆算による仕方を考える。 ・百の位との部分積が2けたになる(3位数)×(1位数)の筆算による仕方を考える。 ・全部の部分積が2けたになる(3位数)×(1位数)の筆算による仕方を考える。	

3 倍の計算 (P.17) 1時間			
9	○ある数の何倍にあたる数を求める場合に、乗法が用いられることを理解する。	・何倍にあたる数を求めるには、どんな計算をすればよいかを考える。(第2用法)	
4 暗算 (P.18) 1時間			
10	○簡単な乗法が暗算でできる。	・(2位数)×(1位数)の暗算の仕方を考える。	
学習のまとめ 1時間 (0時間)			
※	「わかっているかな?」「まちがいやすい問題」(P.19)で、学習内容をより確かなものにする。		
11	○学習内容の理解を確認する。	○「たしかめポイント」(P.20)に取り組む。	・答え合わせまで行う。その際、児童がわからなかった問題は、個別に支援する。
※	「ぐっとチャレンジ」(P.118)は、予備時間などを使って弾力的に扱う。		

11 小数〔1より小さい数を表そう〕 (下P.22~34)

10月下旬~11月中旬 [12時間] [11時間]

【単元の目標】

- ・端数部分の大きさを表すのに小数を用いることを理解し、ものの数量を小数で表す技能を身につけ、数のまとまりに着目して小数の大小比較や加減計算の仕方を考えるとともに、考えた過程を振り返り、学習したことを生活や今後の学習に活用しようとする態度を養う。

【単元の評価規準】

- 知・技**…小数や小数第一位の意味を理解し、小数を用いて端数部分の大きさを表したり、小数第一位の位までの小数の加減計算をしたりすることができる。
- 思・判・表**…数のまとまりに着目し、小数の大きさを図や数直線を用いて表したり、0.1のいくつ分をとらえたりすることを通して、小数の大きさを比べたり、小数の加減計算の仕方を考えたりしている。
- 態 度**…ものの数量を小数で表したことを振り返り、端数部分の大きさを表せる小数のよさに気づき、身の回りから小数が用いられる場面を見つけようとしていたり、今後の学習に活用したりしようとしている。

時	目 標	学 習 活 動	学校の授業以外の場での学習が可能であると 考えられる学習活動や指導上の留意事項
※	「次の学習のために」(P.21)は、短時間学習や家庭学習などを通して弾力的に扱う。		
1 1より小さい数 (P.22~26) 3時間			
1	○単元アプローチ (P.22)		
2	・身の回りから小数で表されているものを探し、小数に関心を持つ。		
2	○小数の表し方やよみ方、「小数」「小数点」「整数」「小数第一位」の意味を理解する。	・1dLに満たない大きさの表し方を考える。 ・小数を使ったかさの表し方を知る。 ・「小数」「小数点」「整数」「小数第一位」を知る。	
3	○小数を使って、長さを表すことができる。	・小数を使って長さを表す。	
2 小数の大きさ (P.27~28) 2時間			
4	○数直線を用いて小数をよんだり表したりして、小数のしくみや大小を考える。	・数直線を使って、小数のしくみや大小を考える。 ・小数の加法的・乗法的構造を考える。	
5	○小数を多面的にとらえ、表現することができる。	・2.8をいろいろな見方で表す。 【ハロー！算数】 ・身の回りから小数を探す。	・学校の授業以外の場で、P.28①、②に取り組ませ、自分の考えや調べたことをノートにまとめさせてもよい。

3 小数のたし算とひき算 (P. 29~32) 6時間			
6	○小数(第一位まで)の加法の計算の仕方を考え説明することができる。	・ $0.5+0.2$ の計算の仕方を考える。	
7	○小数(第一位まで)の減法の計算の仕方を考え説明することができる。	・ $0.9-0.2$ の計算の仕方を考える。	
8 ・ 9	○小数(第一位まで)の加法について、筆算の仕方を理解し、筆算で計算することができる。	・ $2.4+1.2$ の計算の仕方を考え、筆算による仕方をまとめる。 ・小数(小数第一位)の加法の計算(繰り上がりあり)の筆算による仕方を考える。 例 $2.7+5.6$ ・答えの末位の0の処理や、桁数が違う小数の加法の計算の筆算による仕方を考える。 例 $3.2+1.8$, $2.7+3$	
10 ・ 11	○小数(第一位まで)の減法について、筆算の仕方を理解し、筆算で計算することができる。	・ $3.5-2.3$ の計算の仕方を考え、筆算による仕方をまとめる。 ・小数(小数第一位)の減法の計算(繰り下がりあり)の筆算による仕方を考える。 例 $7.5-4.7$ ・答えの末位の0の処理や、桁数が違う小数の減法の計算の筆算による仕方を考える。 例 $5-2.3$, $6.4-5.8$	
学習のまとめ 1時間 (0時間)			
※	「わかっているかな?」「まちがいやすい問題」(P. 33)で、学習内容をより確かなものにする。		
12	○学習内容の理解を確認する。	○「たしかめポイント」(P. 34)に取り組む。	・答え合わせまで行う。その際、児童がわからなかった問題は、個別に支援する。
※	「ぐっとチャレンジ」(P. 119)は、予備時間などを使って弾力的に扱う。		

12 重さ〔ものの重さをはかろう〕 (下P. 36~46)

11月中旬~11月下旬 [7時間] [6時間]

【単元の目標】

- ・重さの単位とその関係について理解し、適切な単位や計器を用いて重さを測定したり、的確に表したりするとともに、長さ、重さ、かさのそれぞれの単位に共通する関係を統合的にとらえ、学習したことを生活や今後の学習に活用しようとする態度を養う。

【単元の評価規準】

知・技…重さの単位(g, kg, t)とその相互関係、メートル法の単位のしくみについて理解し、測定するものに応じておおよその見当をつけて適切な重さの単位や計器を選び、重さを測定したり表したりすることができる。

思・判・表…長さ、重さ、かさのそれぞれの単位に共通する関係に着目し、単位を整理してまとめた表や図をもとに、接頭語が表す倍の関係(メートル法の単位のしくみ)を統合的にとらえている。

態 度…重さを数値に表したり、既習の単位を整理してまとめたりしたことを振り返り、メートル法の単位のしくみのよさに気づき、生活や今後の学習に活用しようとしている。

時	目 標	学 習 活 動	学校の授業以外の場での学習が可能であると 考えられる学習活動や指導上の留意事項
※	「次の学習のために」(P. 35)は、短時間学習や家庭学習などを通して弾力的に扱う。		
単元アプローチ (P. 36) 1時間			
1	○身の回りのものの重さに関心を持ち、重さ比べに取り組む。	・いろいろなものの重さを比べる。	

1 重さくらべ (P. 37~38) 1時間		
2	○重さを数で表す方法を考え、重さの単位「g」とその表し方を理解する。	・重さ比べの方法を考える。 直接比較、間接比較 任意単位での比較 ・重さの単位「g」を知る。
2 はかりの使い方 (P. 39~43) 3時間		
3	○はかりを使って、ものの重さを調べることができる。	・算数の教科書の重さをはかりで調べる。 ・はかりのよみ方を知る。 ・はかりの使い方をまとめる。
4	○重さの単位「kg」を知り、「g」と「kg」の相互関係を理解する。	・重さの単位「kg」を知る。 ・ランドセルの重さを調べる。
5	○重さの保存性と加法性や、重さの単位「t」について理解し、身の回りのものの重さをはかりで測定することができる。	・箱の重さとおかしの重さから、全体の重さを考える。 ・重さの単位「t」を知る。 【ハロー！算数】 ・身の回りのいろいろなものの重さを測定する。
3 長さ、かさ、重さの単位 (P. 44~45) 1時間		
6	○長さ、かさ、重さの単位の関係に着目し、接頭語が表す倍の関係を統合的にとらえることができる。	・これまでに学習した長さ、かさ、重さの単位についてまとめる。
学習のまとめ 1時間 (0時間)		
7	○学習内容の理解を確認する。	○「たしかめポイント」(P. 46)に取り組む。 ・答え合わせまで行う。その際、児童がわからなかった問題は、個別に支援する。
※	「ぐっとチャレンジ」(P. 120)は、予備時間などを使って弾力的に扱う。	

13 分数〔分数の表し方を調べよう〕 (下P. 48~62)

11月下旬~12月中旬 [12時間] **[10時間]**

【単元の目標】

- ・分数が用いられる場合や分数の表し方を理解し、単位分数の個数に着目して分数の大小比較や加減計算の仕方を考えるときともに、整数や小数で表せない大きさを表せる分数のよさに気づき、学習したことを生活や今後の学習に活用しようとする態度を養う。

【単元の評価規準】

- 知・技**…分数が用いられる場合や分数の表し方、分母が10の分数と小数との関係について理解し、同分母分数で真分数どうしの加法(和が1まで)及び減法の計算をすることができる。
- 思・判・表**…単位分数の個数に着目し、図に表しながら分数の大きさを比べたり、同分母分数の加減計算の仕方を考えたりしている。
- 態 度**…ものの数量を分数で表したことを振り返り、整数や小数で表せない大きさを表せる分数のよさに気づき、身の回りから分数が用いられる場面を見つけようとしたり、今後の学習に活用したりしようとしている。

時	目 標	学 習 活 動	学校の授業以外の場での学習が可能であると 考えられる学習活動や指導上の留意事項
※	「次の学習のために」(P. 47)は、短時間学習や家庭学習などを通して弾力的に扱う。		
1 分数 (P. 48~55) 6時間			
1	○単元アプローチ (P. 48) ・両手を広げた長さをテープにうつし、1mに満たないあまりの大きさの表し方を考える。		
	○分数の意味や分数のよみ方、かき方を理解する。	・1mのテープをもとに、1mに満たないあまりの大きさの表し方を考える。	

		・ $1/2$ や $1/3$, $1/3\text{m}$ の意味や表し方, よみ方を知る。	
2	○分数の意味の理解を深め, 分数をよんだりかいたりできる。	・ 1m のテープをもとに, 色のついた部分の長さの表し方を考える。	
3	○分数は単位分数のいくつ分で表されることを理解する。	・ 1m のテープを3等分した2つ分の長さの表し方を考える。 ・ $2/3$, $2/3\text{m}$ の意味や表し方, よみ方を知る。	
4	○「分数」「分母」「分子」の意味を理解し, 分数を用いてかさを表すことができる。	・ 1L より小さいかさを分数で表す。 ・「分数」「分母」「分子」を知る。	
5	○分数は単位分数のいくつ分で表されることをもとに, 1 より大きい分数の表し方を考える。	・ 1m や 1m より長い長さを分数で表す。	
6	○分数ものさしをつくり, いろいろなものの長さをはかる。	【ハロー！算数】 ・ 1m のテープを使って, 分数ものさしをつくり, いろいろなものの長さをはかる。	
※	「つなげる算数」(P.55)で, 2m の $1/4$ (分割分数)の長さは $1/2\text{m}$ (量分数)であることを考え, 分数の意味を確認する。		
2 分数の大きさ (P.56~57) 2時間			
7	○数直線を用いて分数をよんだり表したりして, 分数のしくみや大小を考える。	・数直線を使って, 分数のしくみを考える。 ・分数の大小関係を考える。	
8	○数直線を用いて分母が10の分数と小数の関係を考え, 理解する。	・分母が10の分数と小数の関係を考える。	
3 分数のたし算とひき算 (P.58~60) 2時間			
9	○単位分数の個数に着目して同分母分数の加法の計算の仕方を考え, 計算することができる。	・ $2/5+1/5$ の計算の仕方を考える。	
10	○単位分数の個数に着目して同分母分数の減法の計算の仕方を考え, 計算することができる。	・ $3/5-1/5$ の計算の仕方を考える。	
※	「つなげる算数」(P.60)で, これまでに学習した整数, 小数, 分数の計算が, 単位とするもののいくつ分で考えると同じ計算で考えられることを確認し, それぞれの計算を関連付け, 統合させる。		
学習のまとめ 2時間 (0時間)			
※	「わかっているかな?」「まちがいやすい問題」(P.61)で, 学習内容をより確かなものにする。		
11 ・ 12	○学習内容の理解を確認する。	○「たしかめポイント」(P.62)に取り組む。	・答え合わせまで行う。その際, 児童がわからなかった問題は, 個別に支援する。
※	「ぐっとチャレンジ」(P.121)は, 予備時間などを使って弾力的に扱う。		

*** ふくしゅう (下P.63~64) 配当時数なし**

※	「ふくしゅう」(P.63~64)は, 短時間学習や家庭学習などを通して弾力的に扱う。
---	--

14 三角形と角〔三角形と角を調べよう〕 (下P. 66~79)

1月中旬~1月下旬 [10時間] **[9時間]**

【単元の目標】

- 二等辺三角形や正三角形について、それらの意味や性質を理解し、定規やコンパスを使って作図する技能を身につけ、図形の構成要素に着目して性質や特徴を見いだすとともに、学習したことを生活や今後の学習に活用しようとする態度を養う。

【単元の評価規準】

知・技…二等辺三角形や正三角形、直角二等辺三角形の意味や性質、角の意味について理解し、定規やコンパスを使って二等辺三角形や正三角形を作図することができる。

思・判・表…辺の長さや角の大きさの相等に着目し、二等辺三角形や正三角形を分類したり、紙を折って重ねたり、作図したりすることを通して、それらの特徴や性質を見いだしている。

態度…図形の構成要素の関係に着目したことを振り返り、図形の見方を豊かにするとともに、身の回りから二等辺三角形や正三角形を見つけようとしている。

時	目 標	学 習 活 動	学校の授業以外の場での学習が可能であると 考えられる学習活動や指導上の留意事項
※	「次の学習のために」(P. 65) は、短時間学習や家庭学習などを通して弾力的に扱う。		
1 二等辺三角形と正三角形 (P. 66~73) 6時間			
1	○ストローを使って、いろいろな三角形をつくらうとする。	・長さの違うストローを組み合わせて、いろいろな三角形をつくる。	
2	○三角形の分類の仕方を考え、二等辺三角形、正三角形の意味を理解する。	・つくった三角形を辺の長さに着目して分類し、分類の仕方を説明する。 ・二等辺三角形、正三角形の意味を知る。	
3	○コンパスや定規を使って、二等辺三角形を作図できる。	・コンパスと定規を使った二等辺三角形の作図の仕方を調べる。	
4	○コンパスや定規を使って、正三角形を作図できるとともに、折り紙で正三角形や二等辺三角形を作る方法を考える。	・コンパスと定規を使った正三角形の作図の仕方を調べる。 【ハロー！算数】 ・折り紙を折って、正三角形や二等辺三角形をつくる。	
5	○円を使って二等辺三角形や正三角形がかけられる理由を考え、作図することができる。	・円を使った二等辺三角形、正三角形の作図の仕方を調べる。	
6	○身の回りで、二等辺三角形や正三角形になっているものを見つけようとする。	【ハロー！算数】 ・身の回りから、二等辺三角形、正三角形の形をしたものを調べる。	・学校の授業以外の場で、【ハロー！算数】の活動に取り組みせてもよい。
2 三角形と角 (P. 74~77) 3時間			
7	○角の意味や性質について理解する。	・三角定規のかどの形を調べることを通して、角の意味を知る。 ・大小の三角定規の角の大きさを比べることを通して、角の性質を調べる。	
8	○二等辺三角形や正三角形の角の性質について考え、理解する。	・二等辺三角形の形をした紙を折り、二等辺三角形の角の関係を調べる。 ・正三角形の形をした紙を折り、正三角形の角の関係を調べる。	

9	○二等辺三角形や正三角形を敷きつめ、美しい模様や平面の広がり気づく。	【ハロー！算数】 ・二等辺三角形や正三角形を敷き詰め、模様作りを行う。	
学習のまとめ 1時間 (0時間)			
※	「わかっているかな?」「まちがいやすい問題」(P.78)で、学習内容をより確かなものにする。		
10	○学習内容の理解を確認する。	○「たしかめポイント」(P.79)に取り組む。	・答え合わせまで行う。その際、児童がわからなかった問題は、個別に支援する。
※	「ぐっとチャレンジ」(P.122)は、予備時間などを使って弾力的に扱う。		

15 かけ算の筆算(2) [かけ算の筆算のしかたをさらに考えよう] (下P.82~91)

1月下旬~2月上旬 [8時間] [7時間]

【単元の目標】

- ・2位数や3位数に2位数をかける乗法の計算について、乗法九九などの基本的な計算をもとにしてできることを理解し、筆算で計算する技能を身につけ、数のまとまりに着目して考え説明するとともに、筆算形式のよさに気づき、学習したことを生活や今後の学習に活用しようとする態度を養う。

【単元の評価規準】

- 知・技**…2位数や3位数に2位数をかける乗法の計算について、乗法九九などの基本的な計算をもとにしてできることを理解し、筆算で計算することができる。
- 思・判・表**…数のまとまりに着目し、被乗数を位ごとに分けたり、図と式を関連づけたりしながら、既習事項を用いて2位数や3位数に2位数をかける乗法の計算の仕方を考えている。
- 態 度**…2位数や3位数に2位数をかける乗法の計算の仕方について、図や式などを使って考えた過程を振り返り、数のしくみや乗法について成り立つ性質を使うと、くふうして計算できることに気づき、生活や今後の学習に活用しようとしている。

時	目 標	学 習 活 動	学校の授業以外の場での学習が可能であると 考えられる学習活動や指導上の留意事項
※	「次の学習のために」(P.81)は、短時間学習や家庭学習などを通して弾力的に扱う。		
単元アプローチ (P.82) 1時間			
1	○既習の乗法を振り返るとともに、未習の乗法の計算について考えようとする。	・自分の誕生日の数を使って、乗法の式をつくる。	
1 何十をかける計算 (P.83~84) 2時間			
2 ・ 3	○1位数や2位数に何十をかける計算の仕方を考え、計算することができる。	・ 3×40 の計算の仕方を考える。 ・ $(1 \text{ 位数}) \times (\text{何十})$ の計算の仕方をまとめる。 ・ 24×30 の計算の仕方を考える。	
2 2けたの数をかける計算 (P.85~88) 3時間			
4	○ $(2 \text{ 位数}) \times (2 \text{ 位数})$ の計算の仕方を考え、計算が筆算でできる。	・ 21×32 の計算の仕方を考える。 ・ $(2 \text{ 位数}) \times (2 \text{ 位数})$ の筆算による仕方をまとめる。	
5	○部分積に繰り上がりのある $(2 \text{ 位数}) \times (2 \text{ 位数})$ の計算が筆算でできる。	・ 64×48 の筆算による仕方考える。 ・ 32×27 , 25×73 の筆算による仕方を考える。	
6	○ $(1, 2 \text{ 位数}) \times (2 \text{ 位数})$ の筆算の仕方を、数のしくみや乗法の性質を用い、くふうして考える。	・乗数の末位が0の場合の筆算の仕方考える。 例 76×30 ・ $(1, 2 \text{ 位数}) \times (2 \text{ 位数})$ の筆算による仕方考える。 例 40×78	

3 3けたの数にける計算 (P. 89) 1時間			
7	○(3位数)×(2位数)の計算の仕方を考え、計算が筆算でできる。	<ul style="list-style-type: none"> ・147×35の計算の仕方を考える ・(3位数)×(2位数)の筆算による仕方をまとめる。 ・(3位数)×(2位数)の派生型の筆算による仕方を考える。 例 503×47	
学習のまとめ 1時間 (0時間)			
※	「わかっているかな?」「まちがいやすい問題」(P. 90)で、学習内容をより確かなものにする。		
8	○学習内容の理解を確認する。	○「たしかめポイント」(P. 91)に取り組む。	・答え合わせまで行う。その際、児童がわからなかった問題は、個別に支援する。
※	「ぐっとチャレンジ」(P. 123)は、予備時間などを使って弾力的に扱う。		

● **どんな計算になるか考えよう** (下P. 92) 2月中旬 [1時間]

時	目 標	学 習 活 動	学校の授業以外の場での学習が可能であると 考えられる学習活動や指導上の留意事項
1	○乗法・除法を使った問題の解決の仕方を考え、演算決定をすることができる。	・問題文を読み、どのような計算で求められるかを考え、解決する。	・子どもの実態によっては、学校の授業以外の場での学習としてもよい。

16 □を使った式 [□を使った式で表そう] (下P. 94~99)

2月中旬~2月下旬 [5時間] **[4時間]**

【単元の目標】

- ・未知の数量を□とすると数量の関係を式に表せることを理解し、数量の関係に着目して問題場面を式や図に表したり、式が表す場面の意味を読みとったりするとともに、未知の数量を□として考えるよさに気づき、問題解決に活用しようとする態度を養う。

【単元の評価規準】

- 知・技**…未知の数量を□などを用いて表すことにより数量の関係を式に表せることを理解し、問題場面どおりに数量の関係を□などを用いて立式できるとともに、□にあてはまる数を調べることができる。
- 思・判・表**…数量の関係に着目し、問題場面を□などを用いた式や図に簡潔に表したり、式と図を関連づけて式が表している場面の意味を読みとったりしている。
- 態 度**…数量の関係を図や式に表したことを振り返り、未知の数量を□として表すよさに気づき、□などを用いた式を問題解決に活用しようとしている。

時	目 標	学 習 活 動	学校の授業以外の場での学習が可能であると 考えられる学習活動や指導上の留意事項
※	「次の学習のために」(P. 93)は、短時間学習や家庭学習などを通して弾力的に扱う。		
単元アプローチ (P. 94) 1時間			
1	○数量の関係を表す算数の問題をつくり、表現することができる。	・さし絵を見て、算数のお話づくりや問題づくりをする。	
□を使った式 (P. 95~98) 3時間			
2	○加法の場面で、未知数を□として式や図に表し、□にあてはまる数を調べることができる。	・加法の場面で、未知数を□として数量の関係を式に表し、□にあてはまる数を調べる。	
3	○減法の場面で、未知数を□として式や図に表し、□にあてはまる数を調べることができる。	・減法の場面で、未知数を□として数量の関係を式に表し、□にあてはまる数を調べる。	

4	○乗法の場合で、未知数を□として式や図に表し、□にあてはまる数を調べることができる。	・乗法の場合で、未知数を□として数量の関係を式に表し、□にあてはまる数を調べる。	
学習のまとめ 1時間 (0時間)			
5	○学習内容の理解を確認する。	○「たしかめポイント」(P.99)に取り組む。	・答え合わせまで行う。その際、児童がわからなかった問題は、個別に支援する。

17 そろばん〔そろばんで計算しよう〕 (下P.100~103)

3月上旬 [3時間]

【単元の目標】

- ・そろばんによる数の表し方を理解し、そろばんのしくみに着目して加法及び減法の計算の仕方を考えるとともに、十進位取り記数法のしくみで作られているというそろばんのよさに気づき、そろばんで数を表したり計算したりしようとする態度を養う。

【単元の評価規準】

知・技	…そろばんによる数の表し方を理解し、簡単な1位数や2位数の加法及び減法の計算ができる。
思・判・表	…そろばんのしくみに着目し、そろばんによる大きな数や小数の加法及び減法の計算の仕方を考えている。
態 度	…そろばんによる数の表し方を振り返り、十進位取り記数法のしくみでつくられているというよさに気づき、そろばんで整数や小数を表したり計算したりしようとしている。

時	目 標	学 習 活 動	学校の授業以外の場での学習が可能であると 考えられる学習活動や指導上の留意事項
1 数の表し方 (P.100~101) 1時間			
1	○そろばんによる数の表し方を理解する。	・そろばんの各部分の名称を知る。 ・数のおき方、はらい方を知る。	
2 たし算とひき算 (P.102~103) 2時間			
2	○そろばんを使って、繰り上がりのない加法及び繰り下がりのない減法の計算ができる。	・そろばんを使った加法や減法の計算の仕方を調べる。 例 $21+27$, $87-36$ $4+3$, $7-3$	
3	○そろばんを使って、繰り上がりのある加法及び繰り下がりのある減法の計算ができる。	・そろばんを使った加法や減法の計算の仕方を調べる。 例 $3+8$, $11-8$ $5+7$, $12-7$	

● 算数アドベンチャー (下P.104~105) 3月上旬 [1時間]

時	目 標	学 習 活 動	学校の授業以外の場での学習が可能であると 考えられる学習活動や指導上の留意事項
1	○重さのはかり方をまとめた表に着目し、使うおもりのきまりを見いだすことができる。	・数種類のおもりを組み合わせ、 $1g \sim 15g$ までのはかり方を調べる。	・子どもの実態によっては、学校の授業以外の場での学習としてもよい。

● 3年のまとめ (下P.106~108) 3月上旬~3月中旬 [3時間] [0時間]

時	目 標	学 習 活 動	学校の授業以外の場での学習が可能であると 考えられる学習活動や指導上の留意事項
1 ~ 3	○3年の学習内容についての理解を確かなものにする。	・3年の学習内容を確認する。	・答え合わせまで行う。その際、児童がわからなかった問題は、個別に支援する。